

行政視察等報告書

平成29年2月23日

米子市議会議長様

議員名 矢倉 強



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	矢倉 強
期日	平成29年2月13日から平成29年2月14日まで
〔概要〕（年月日・場所・内容） 地方議員研究会「元副市長が教える 地方創生のためにいま議員ができること」 会場 アットビジネスセンター東京駅八重洲通り（東京都中央区八丁堀1-9-8） 2月13日 ・役所を動かす質問の仕方 ・防災、減災と議員の役割 2月14日 ・地域包括ケアシステムの理解と行政の役割 ・国民健康保険制度の理解と今後	
〔所感〕 別紙のとおり	
経費	旅費総額 112,896円

視 察 報 告

矢倉 強

2月13日 月 元副市長が教える、地方創生の為に、今議員が出来ること 1日目

役所を動かす質問の仕方

一般質問とは、議会活動で主要なもので、議員活動の中でも最も重要な活動である。
政策を執行部のマネジメントサイクルにのせる一つの大きな機会でもある。

執行部は、質問をいかにうけとめているのか

執行部は、議員の質問通りやって議会が責任を共有してくれるのか心配している。
問題意識のないものは、真剣に執行部は、検討しない。
真剣に検討させるには、問題を共有することだ

市民要望を提案する事で執行部を引き付ける

課題発見能力と政策形成能力が必要となる。
その基礎は、関心ある分野に対する問題意識と現制度にたいする知識

質問には、3つの仕方がある。

自己主張型 課題、責任追求方 政策提案方

課題認識が最も必要

問題発見能力は、日ごろの問題意識と学習

正確な、現状認識から踏まえた課題認識で有れば共感を得られる。

テーマを続けること

テーマは、一貫して深掘りしていくこと

理路整然と論理を展開する。 一貫した主張

質問の中身

当事者や住民の意見を聞き、他団体の成功事例を参照したり専門家の意見を紹介

防災、減災と議員の役割

自治体の防災における役割

予防、応急対策 復旧対策

避難準備、避難勧告、避難指示などを出すタイミングが重要

地域防災計画を定める

災害対策本部の設置 自主防災組織と消防団

経験に学ぶ

学校での災害教育の必要性 役所の防災人材 民間の防災人材育成が必要

議会、議員としての役割

応急対策時には、議員個人として 復興時には、議会が機関として

議会独自の災害対策に関する取り組み

災害時における議員、議会の行動マニュアルの作成。 議会独自の避難、参集訓練

2月14日 火 元副市長が教える 地方創生のために今議員が出来ること 2日目

地域包括ケアシステムの理解と行政の役割

大きく変化する社会、経済情勢。

わが国の出生率に歯止めがかかっていない。第3次ベビーブームはおこらず

今後の高齢者の見通しについて

第一段階 高齢者が増加する時期 第二段階 維持、微減となる時期

第三段階 減少する時期

地域によって異なる将来人口動向

地域包括ケアが求められる理由

健康寿命を延ばす 予防と病気になっても自宅でケア出来る在宅医療が今後の中心

地域包括システムの5つの構成要素

- 1 本人と家族の選択と心構え
- 2 住まいと住まい方
- 3 生活支援 福祉サービス
- 4 予防
- 5 医療 介護

自助 互助 共助 公助から見た地域包括システム

少子高齢化や財政状況からは、共助 公助は期待できない。自助 互助の役割が増大

地域包括システムの成果



寝たきりの減 医療費延びの鈍化 経済効果 まちの活性化

介護サービスのメニュー

介護予防サービス 地域密着型予防サービス 在宅サービス 施設サービス

地域包括支援センター

介護給付 予防給付 地域支援事業

国民保険制度の理解と今後

社会保証制度の種類

1 公的扶助 2 社会福祉 3 社会保険 4 公衆衛生 5 環境政策

医療保険の種類

協会健保 健康保険組合 船員組合 共済組合 後期高齢者医療制度

生活保護受給世帯 国民健康保険組合

国民健康保険は、国民皆保険の中核

市町村国民健康保険の概要

1 国保の運営 2 被保険者 3 保険給付 4 国保財政と予算 5 収入

6 国保の課題 医療費の適正化

強制運用 届出

国保の給付 現物給付 現金給付 高額療養制度

国民健康保険事業の予算の組み方

最も重要なのは、医療費の見積り

後期高齢者医療給付費の負担調整

持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康法の一部改正

研修の感想については、一般質問では、議員に求めている制度と異なる説明もあった
当局側の考えが極めて人間的であると感じた。そこには、市民目線が感じられなかった。

防災については、例をあげながらの説明でわかりやすかった。

地域包括と国民健康保険については、今の地方行政欠くことの出来ない重要な課題で
有り勉強になった。全体的には、入門編が多くベテラン議員を対象にした内容の濃い
研修が有れば良いのにとおもいました。